

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘）
「応急活動・資源管理」コース

令和元年度 第1期

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	講師名	学 習 目 標
10月8日 (火)	1限目 09:30～10:45	座学	座学 応急活動の流れと資源管理に関する基本的な考え方について学ぶ。	宇田川 真之 (東京大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応急活動の流れと業務の概要について説明できる。 ・ ロジスティクスの考え方について説明できる。 ・ 応急活動と求められる資源管理について説明できる。
	2限目 11:00～11:45	座学	座学 国における初動対応の内容とその連携のあり方について学ぶ。	三木 俊史 (内閣府)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政府の初動対応について説明できる。 ・ 具体的な応急対策活動に関する計画について説明できる。 ・ 政府と被災地方公共団体との連携について説明できる。
	3限目 11:45～12:15 13:15～14:30	座学	座学 災害時の行政機関の間で行われる応援受援の仕組みと受援計画について学ぶ。	照井 英夫 (内閣府) 大森 康宏 (総務省) 田代 崇憲 (福岡県大野城市)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応急活動の実施にあたっての行政職員の確保の重要性を説明できる。 ・ 行政機関の間で行われる応援受援の仕組みを説明できる。 ・ 行政機関の応援受援を円滑に行うための留意点を説明できる。
	4限目 14:45～16:00	座学	座学 被災地における資源確保の例として、災害廃棄物の撤去・処理の進め方と留意点を事例に基づき学ぶ。	多島 良 (国立環境研究所) 大川 敏彰 (全国都市清掃会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害廃棄物処理の概要を説明できる。 ・ 災害廃棄物処理における資源管理と応援受援を説明できる。
	5限目 16:15～17:30	演習	演習 災害対策本部における資源（人的、物的、空間・サービス）の確保、管理における留意点などを演習形式で学ぶ。	宇田川 真之 (東京大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な機関と連携して業務を実施する際の課題解決のための着眼点を説明できる。 ・ 応急活動を効果的に実施するために求められる活動拠点等を確保するうえでの着眼点を説明できる。
10月9日 (水)	1限目 09:30～10:45	座学	座学 救援物資の調達に関する実務と課題について学ぶ。	古澤 通規 (コメリ災害対策センター) 廣瀬 晃正 (セブン-イレブン・ジャパン)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資の民間企業・団体からの調達の実態について説明できる。 ・ 救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための留意点を説明できる。 ・ 救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための備えを説明できる。
	2限目 11:00～12:15	座学	座学 救援物資の輸配送に関する実務と課題について学ぶ。	吉田 将一 (全日本トラック協会) 上野 潤 (佐川急便)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資の輸配送の実態について説明できる。 ・ 救援物資の輸配送を民間企業・団体と連携して行う際の留意点を説明できる。 ・ 救援物資の輸配送を円滑に行うための事前の備えを説明できる。
	3限目 13:15～14:30	座学	座学 応急活動を行うために必要となる活動拠点や通信サービス等の確保について学ぶ。	大塚 和典 (熊本県熊本市) 安藤 順二 (全国石油商業組合連合会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動拠点・環境の確保のための事前準備について説明できる。 ・ 災害発生時において、応急活動を行うために求められる空間確保（道路網、活動拠点等）について説明できる。 ・ 災害発生時において、応急活動を行うために求められるサービスの確保（燃料等）について説明できる。
	4限目 14:45～16:00	演習	演習 救援物資の調達から輸送・保管・配布における留意点などを演習形式で学ぶ。	宇田川 真之 (東京大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資の調達業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。 ・ 救援物資の倉庫業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。 ・ 救援物資の輸配送業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。
	5限目 16:15～17:15	演習	演習 防災力アップのため、災害時の物資物流と広域的な応援体制について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考える。	竹本 加良子 (サイエンスクラフト) 宇田川 真之 (東京大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。